

令和6年度 世田谷区立尾山台中学校 学校経営方針

世田谷区立尾山台中学校
校長 永野 祥夫

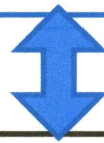
1 目指す教育目標と学校像

世田谷区立尾山台中学校の教育目標

- 思いやり
- 深く考える
- 健康な身体
- 集団の質を高める

< 魅力と活力にあふれ、保護者や地域から信頼される学校 >

- ・ 夢や希望が実現できる学校
- ・ その手立てや方策を立てる
- ・ 魅力のある学校
- ・ 生徒が主役の学校



目指す学校像	目指す生徒像	目指す教師像
<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒一人一人の良さが発揮される学校 ・ 生徒にとって、仲間とともに学びたくなる学校 ・ 保護者・地域にとって、通わせたくなる学校 ・ 教職員が生徒とともに、働きたくなる学校 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 夢と希望をもち、目標を達成できる生徒の育成 ・ SDG s 達成目標を推進する生徒の育成 ・ 明るく元気で、何事にも積極的に取り組む生徒の育成 ・ 困難にもあきらめず、最後まで粘り強くやりぬく生徒の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 時代の変化や自らのキャリアステージに応じて資質能力を高めることのできる教師 ・ 自己の職責を果たし教育のプロの意識をもつ ・ 公務員、組織の一員としての自覚をもつ教師 ・ 服務に敏感な教師

2 教育活動の目標と方策

(1) 感謝の気持ち、表現できる生徒の育成

- 思いやりの育成とともに、いじめ・不登校に継続的に取り組む。
- 自他の生命を尊重し、共に生きる心を大切に育て、豊かな人間性・社会性を育成する。
 - ◆ いじめ・不登校・問題行動の予防体制の確立<・いじめ防止等委員会・QUの実施とその活用>
 - ◆ 特別支援教育の校内組織の確立<・毎週の校内委員会・全教職員で情報共有・統一指導がでる>
 - ◆ 保護者・地域の方との連携を深め、生徒指導を包括的に進める<・運営委員会・外部連携推進>
 - ◆ ボランティア活動に進んで取り組み、他といつでも協力する力を高める<・奉仕活動・クソクソ>

(2) 区の施策「キャリア未来・デザイン教育」の推進と、20・30年後に活躍する生徒の育成

- ともに学び、ともに育つことで大切にしたいことを考えさせる。
- 幸せな未来をデザイン（考えさせる）し、想像できる力を確実に身に付ける。
 - ◆ 自分のよさや可能性を信じながら、何事にもチャレンジする<・学級活動・体育祭・学芸会>
 - ◆ 他の人との違いを認め合い、思いやりとともに学びあう<・ウェルビーイング・道徳公開>
 - ◆ 学校生活向上の創り手とし、常に行動する力を仲間とともに高めあう<・係活動・委員会活動>

(3) SDG s 達成目標を推進する生徒の育成

- 地球の一員として自ら行動するとともに、SDGs 達成目標を「自分ごと」とする。
- 様々な多様性を受け入れ、自分らしく生き、仲間とともに成長し続ける。
 - ◆ 自らが SDGs 達成の主役であるという自覚を「態度表明」させる<SDGs バッジ・達成シート>
 - ◆ あらゆる学習の機会をとらえて、持続可能な活動を推進する<・各教科学習・総合学習>
 - ◆ 各先生方の自己申告の中に位置づけさせるとともに、各教員での「自分ごと」を進める。